

公益社団法人日本社会福祉士会 第37回通常総会 議事録

1. 日 時 : 2025年6月21日(土) 13:00~:15:22

2. 場 所 : 鉄鋼会館 811+813会議室(東京都中央区日本橋茅場町3-2-10)

【出席者(都道府県社会福祉士会)】(敬称略)

篠原 歩(北海道)	納谷むつみ(青森)	坂口 繁治(岩手)	小林 紀代(宮城)
和田 士郎(秋田)	大江 祥子(山形)	松本 喜一(福島)	加藤 史子(茨城)
松永千恵子(栃木)	遅塚 昭彦(埼玉)	伊藤佳世子(千葉)	吉沢 寿子(東京)
渡辺 陽一(新潟)	渡辺 実子(山梨)	吉澤 利政(長野)	清水 剛志(富山)
末松 良浩(石川)	須磨 航(福井)	岡川 毅志(岐阜)	高橋 邦典(静岡)
宮崎 靖(愛知)	平井 俊圭(三重)	山内 克仁(山内)	長澤 哲也(京都)
前川阿紀子(大阪)	福田 崇徳(兵庫)	西田 利昭(奈良)	新野佳世子(和歌山)
朝倉 香織(鳥取)	田中 涼(島根)	吉岡 孝二(広島)	辻中 浩司(山口)
湯浅 雅志(徳島)	橋本 一晃(愛媛)	久野 貴裕(高知)	高田 裕矢(福岡)
大垣内 勇(佐賀)	濱崎 隆広(長崎)	梅田 孝子(熊本)	伊藤 保幸(大分)
末永 恭(宮崎)	牛山 直見(鹿児島)	石川 和徳(沖縄)	

(計43名 計数後の出席者1名含む)

[書面表決]

小川 貴之(群馬) 田中 晃(神奈川) 尾崎 力弥(岡山) 三瀬 誠(香川)
(計4名)

【欠席者(都道府県社会福祉士会)】

なし。

(計0名)

【出席役員】(敬称略)(代表理事(会長)、業務執行理事(副会長)以下、五十音順)

代表理事: 西島 善久

業務執行理事: 中田 雅章 安藤 千晶 岡本 達也

理 事: 伊東 良輔 角山 信司 栗原 直樹 徳永 実 中村 直樹

中山 貴之 星野 美子 山下 康

(計12名)

監 事: 江原 伸弘 笠田 朋宏

(計2名)

事務局 長: 牧野 一義

【欠席者(役員)】

理 事: 神内秀之介

(計1名)

3. 準備手続き

(1) 議長選任

牧野事務局長から定款第 30 条の規定に基づき、議長の選任について諮ったところ、以下のとおり選任され、異議なく承認された。

山内 克仁 氏（滋賀県社会福祉士会）

西田 利昭 氏（奈良県社会福祉士会）

(2) 議事録署名人選任

山内議長から定款第 34 条第 2 項に基づき、議事録署名人の選任について諮ったところ、以下のとおり選任され、異議なく承認された。

新野佳世子 氏（和歌山県社会福祉士会）

福田 嵩徳 氏（兵庫県社会福祉士会）

(3) 定足数確認及び開会宣言

牧野事務局長から本総会の出席者数の報告を行った。都道府県社会福祉士会の代表者数 47 名のうち、会場出席者 42 名、書面表決書による出席者 4 名で、定款第 31 条第 1 項に規定された定足数（正会員代表者の過半数の出席）を満たしていることから、山内議長より開会が宣言された。

4. 会長挨拶

西島会長から開会挨拶を行った。

5. 審議事項

<第 1 号議案> 2024 年度決算報告

<第 1 号報告> 2024 年度事業報告

中田副会長から議案資料集及び当日配付資料に基づき、第 1 号議案、2024 年度決算について公益認定に係る財務 3 基準（公益目的事業の収支相償・公益事業費率 50%以上・遊休財産の保有制限（201,946,875 円以下））はすべて満たしていることを報告し、財務状況を説明した。安藤副会長から議案資料集にそって 2024 年度に実施した事業について報告した。

続いて、笠田監事から会計監査及び事業監査報告があり、会計及び事業については適切に行われていることを報告した。

（質疑応答）

清水会長（富山県）

議案資料集に各委員会の事業報告書が掲載されているが、決算書類では 2024 年度の各委員会事業にどれだけの経費がかかっているのかがわからない。各委員会の事業経費を示す資料はないのか。

大垣内会長（佐賀県）

当日配布資料の 3 ページに人件費が 97,569 千円、正職員数が 16 名と記載されている。一人あたりの人件費は大体 97,569 千円を 16 名で割った金額ということでしょうか。会にとって事務局職員は大切な存在である。東京の賃金の相場はわからないが、物価上昇等がある中で事務局職員は、現在の賃金水準に満足しているのか。年間の残業時間は 125 時間と記載されている。個々の職員が時間数をどう思っているかを知ることは難しいと思うが、時間数として妥当であり、職員が納得しているのか。その点がわかれば教えてほしい。賃金は高すぎてもよくないが、職員定着のためにも待遇について事務局職員に納得してもらおう必要があると考えている。

高橋会長（静岡県）

当日配布資料 2 ページ記載されている特別賞与 2,633 千円は、休日出勤に対する減額分を支払ったとの説明があったが、3 月の 2024 年度臨時総会（以下「臨時総会」という。）では、休日出勤の減額分と深夜割増賃金を過去に遡って支払うという説明であった。2,633 千円には深夜割増賃金は含まれているのか。2,633 千円の支払いで未払いは解消したのか。臨時総会では、未払い分を支払うことの説明とともに過重労働で代休の未取得等が発生し、法令遵守がなされていなかったことの説明もあり過重労働等の解消に向けた検討を早急に行うという説明があった。その説明を受け、今後このような事態が生じないように原因究明と再発防止を求めた。再発防止等の取り組みの進捗状況を説明してほしい。

牧野事務局長

各委員会の経費は、正味財産計算書の各科目に按分されている。委員会ごとの各科目の経費の資料を作成するとなると事務量が大幅に増え、資料もかなりの量となる。議案資料集の決算資料には各委員会の経費も当然計上されているということで理解いただきたい。

西島会長

2024 年度の人件費 97,569 千円を正職員数 16 名で割ると約 6,100 千円となる。これは平均額であり、職階によって基本給等が異なるので職員によって年収に違いがあるということは理解いただきたい。残業時間は一人あたり年間 125 時間でひと月あたり約 10 時間である。これが多いか少ないかという判断は一概にできないが、残業は極力抑えるのが望ましいと考えている。所定時間内で業務が終わるように効率化を図るためのシステムの導入検討や、業務の効率化について職員からのヒヤリング等を行い、業務改善の提案も受けている。今後、プロジェクトチームを立ち上げ、職員の意見や業務改善提案等を参考にしながら労働環境改善の取り組みに着手するところである。特別賞与の金額は、臨時総会時に説明した休日出勤の減額分と未払いの深夜割増賃金の合計額であり、未払いは解消している。

大垣内会長（佐賀県）

労務管理のため、職員のタイムカードはどのくらいの期間、保管しているのか。

牧野事務局長

事務局職員の勤務時間管理は、タイムカードではなく、職員各自が所定書式で始業時間、終業時間を記録する方式で行っている。記録の保管期間は、法律で定められている期間を保管している。

質疑応答終了後、採決に移り、第 1 号議案は賛成の挙手の数が定款第 31 条第 1 項に規定された過半数の要件を満たし可決された。

<第 2 号議案>役員選任案

山内議長から定款第 19 条に基づき、現役員（理事・監事）全員が本通常総会の終結の時をもって任期満了で退任するため次期役員を選任することを説明した後、濱崎選挙管理委員会委員長から、役員候補者選出の経緯が説明され、理事候補者氏名及び理事会が推薦する監事候補者氏名が読み上げられた。

質問、意見はなく、採決に移り、議案資料集の理事候補者名簿及び監事候補者名簿にそって一人ずつ理事、監事選任案の採決を行った。

[理 事]

安藤 千晶 氏（静岡県）

賛成の数が定款第 31 条第 1 項に規定された過半数の要件を満たし可決された。

伊東 良輔 氏（福岡県）

賛成の数が定款第 31 条第 1 項に規定された過半数の要件を満たし可決された。

岡本 達也 氏（富山県）

賛成の数定款第 31 条第 1 項に規定された過半数の要件を満たし可決された。

角山 信司 氏（沖縄県）

賛成の数定款第 31 条第 1 項に規定された過半数の要件を満たし可決された。

神内 秀之介 氏（北海道）

賛成の数定款第 31 条第 1 項に規定された過半数の要件を満たし可決された。

直木 慎吾 氏（大阪）

賛成の数定款第 31 条第 1 項に規定された過半数の要件を満たし可決された。

中島 康晴 氏（広島県）

賛成の数定款第 31 条第 1 項に規定された過半数の要件を満たし可決された。

中村 直樹 氏（青森県）

賛成の数定款第 31 条第 1 項に規定された過半数の要件を満たし可決された。

中山 貴之 氏（兵庫県）

賛成の数定款第 31 条第 1 項に規定された過半数の要件を満たし可決された。

丸山 晃 氏（東京）

賛成の数定款第 31 条第 1 項に規定された過半数の要件を満たし可決された。

宮崎 靖 氏（愛知県）

賛成の数定款第 31 条第 1 項に規定された過半数の要件を満たし可決された。

山下 康 氏（神奈川県）

賛成の数定款第 31 条第 1 項に規定された過半数の要件を満たし可決された。

米田 順哉 氏（愛媛県）

賛成の数定款第 31 条第 1 項に規定された過半数の要件を満たし可決された。

[監 事]

笠田 朋宏 氏（会員外）

賛成の数定款第 31 条第 1 項に規定された過半数の要件を満たし可決された。

竹内 則夫 氏（東京）

賛成の数定款第 31 条第 1 項に規定された過半数の要件を満たし可決された。

上記の結果、第 2 号議案の役員候補者のすべてについて、賛成の数定款第 31 条第 1 項に規定された過半数の要件を満たし可決された。

第 2 号議案の終了後、山内議長から 14 時 15 分までの休憩が宣言された。

13 : 57 ~ 14 : 15 休憩

14：15 西田議長から再開が宣言された。

6. 理事会報告事項

＜第1号報告＞2024年度事業報告【再掲】

中田副会長からの第1号議案の説明とともに、安藤副会長から議案資料に基づき報告した。

＜第2号報告＞2026年度予算・制度に関する提案書

西島会長から議案資料に基づき、委員会等からの意見を盛り込んだ「2026年度予算・制度に関する国への提案書」の要点を説明し、厚生労働省をはじめ関係省庁に提出したことを報告した。

質問等はなかった。

＜第3号報告＞2024年度声明及び関係行政機関等への意見・要望等の状況

西島会長から議案資料に基づき、2024年度に発出した声明及び厚生労働省等に提出した意見・要望について報告した。

質問等はなかった。

7. 事務連絡

＜第1号事務連絡＞規程類の改正

牧野事務局長から議案資料に基づき、2024年度第12回理事会において改正した規程類について報告した。

＜第2号事務連絡＞第33回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（島根大会）

島根県社会福祉士の田中会長から、7月5日、6日に島根県松江市の「くにびきメッセ」で開催する第33回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（島根大会）の参加申込人数が993名に達し、当初の見込みより多くの申し込みがあること、準備状況について報告するとともに、参加者が1,000名を超えるようにさらなる全国からの参加を呼びかけた。

＜第3号事務連絡＞第34回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（青森大会）

青森県社会福祉士の納谷会長から、第34回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（青森大会）の映像によるPRを行うとともに、2026年7月4日、5日の青森市のリンクステーションホール青森での開催に向けて準備を進めていることを報告した。

＜第4号事務連絡＞2024年度事務局代表者会議開催報告

組織委員会の中島委員長から当日配布資料に基づき、2月5日に開催した事務局代表者会議において都道府県社会福祉士会出席者から出された意見やアンケート結果について報告した。

＜第7号事務連絡＞その他

（1）2030年度 第38回全国大会開催地募集

牧野事務局長から当日配布資料に基づき、2030年度の第38回日本社会福祉士会・社会福祉士学会の開催地募集について説明し、立候補を呼びかけた。

(2) 後見委員会からの報告事項

星野理事から当日配布資料に基づき、2024 年度に実施した『中核機関の役割とソーシャルワーク機能に関する調査研究事業』報告書を研修や地域で発信してほしいこと、法制審議会民法（成年後見等）部会において中間試案がとりまとめられ、6 月下旬にはパブリックコメントの募集が開始される予定にあわせ、中間試案のポイント説明会を開催するので都道府県社会福祉士会等に対しパブリックコメント発出の検討を呼びかけた。また、最高裁判所から発出された「後見等事務報告に関する統一書式と後見人に求められる身上保護事務について」等の報告をした。

(3) 障害福祉分野の相談支援員について

荒木課長から当日配布資料に基づき、厚生労働省より、障害福祉分野における「相談支援員」に関する周知依頼があったことを報告し、都道府県社会福祉士会における周知を依頼した。

(4) ソーシャルワーカーデーについて

牧野事務局長から当日配布資料に基づき、今年も都道府県社会福祉士会において海の日にソーシャルワーカーデーのイベント開催を呼びかけるとともに、開催を決定した場合は所定書式での報告を依頼した。

(5) オリジナル絵本「タナカさんとボクのくつ」の紹介

三重県社会福祉士会の平井会長から当日配布資料に基づき、三重県社会福祉士会設立 30 周年を記念して制作したオリジナル絵本「タナカさんとボクのくつ」の紹介をするとともに、東海 4 県の各小学校と全国の社会福祉士会へ寄贈するためのクラウドファンディングを行っていること等を報告した。

以上で議事を終了し、15：22に閉会した。